

よくあるご質問

カテゴリ	質問	回答
申込について	一次募集で当選しました。異なる学年で申込は可能でしょうか？	一次募集で既に参加が決定している学校は、重複して申込みことはできません。
	少ない人数でも参加可能でしょうか？	少人数でもお申込みいただけます。
	児童数が少ない学校で、定員の範囲内であれば複数学年の合同利用は可能ですか？	児童数が少ない学校については、2学年までの合同利用は可能です。ご希望の場合はお申込フォームの自由記述欄にその旨明記のうえご相談ください。なおプログラムの関係上、対象は小学校1～3年生、小学校4～6年生と区切らせていただいております（特別支援学校の場合も同じです）。
	受入可能人数を超えていると、申込みができないのでしょうか？	子どもたちが安全に楽しく体験でき、かつ展示室内の作品保全や他の来館者の方に配慮した受入可能人数を目安としてお示ししております。人数を超える場合はご相談ください。
	各種学校はこれまで「特別支援校」枠だった。どの申込フォームから申込んだら良いですか？	「特別支援校」枠ではなく、対象の学齢に合わせたプログラムにお申込みください。
	もし落選した場合、キャンセル待ちを受け付けてもらえますか？	キャンセルが出た場合、落選した学校の中から再抽選を行い、個別にご案内させていただきます。
	申込んだ対象学年を当選後に学内で変更することはできますか？	対象学年によって内容が変更となる可能性があるため、一度ご相談をお願いいたします。変更が分かった時点でお早めにご連絡ください。
プログラム内容について	幼稚園・保育園・小学校低学年は造形と鑑賞が1つのプログラムとなっていますが、どちらかみの体験に変更はできないのでしょうか？	令和7年度の「学校のためのプログラム」からは造形と鑑賞をセットで体験していただくことが基本です。時間内に両方の体験ができるよう事前打合せの際にご相談します。
	子どもたちを展示室内に連れていくのは心配。造形プログラムだけで利用できませんか？	造形プログラムだけの参加はできません。多くの子どもたちにとって「学校プログラム」は美術館との最初の出会いの機会となります。作品を鑑賞する場である美術館という場所を知り、美術作品を観るという経験を楽しく豊かなものとするために、館内のアトリエで実際に素材に触れる造形活動と展示室での作品鑑賞活動をセットにしたプログラムとしています。鑑賞プログラム時には経験豊かなスタッフが展示室をともにまわり、鑑賞の手助けをします。鑑賞の内容など、事前に充分打合せたうえでルートを考えますのでご安心ください。
	小学校高学年です。鑑賞は行わず、造形プログラムの体験に変更できないのでしょうか？	プログラム内容は各学齢の発達段階を考慮して作成しています。そのため、小学校高学年の子どもたちの場合は、鑑賞を主としたプログラムへのご参加をお勧めしています。高学年の場合は、作品を前にしての言語的なコミュニケーション力も育ち、更に新学習指導要領に掲げる「現代的な諸課題に関する教科横断的」な学習にリンクした鑑賞活動も可能となります。当日は美術館が初めてという子どもたちもリラックスして参加できるよう、段階的に導いていきます。ぜひこの機会をご活用ください。
	活動時間（開始、終了）について、相談は可能ですか？	可能です。プログラムの推奨時間はWEBサイト掲載の各プログラムの図示の通りです。ただし、極端に時間が短縮される場合は活動内容を十分に体験できなくなる可能性があります。
	美術館さんぽと鑑賞プログラムの差はなんですか？	美術館という場所の出会いがメインか、作品との出会いがメインかの違いになります。「美術館さんぽ」は作品だけでなく、美術館の施設や機能を知ってもらうことを目的としています。「鑑賞プログラム」は横浜美術館のコレクション作品を中心に鑑賞します。
	子どもたちが展覧会場内で静かに鑑賞できるかどうか不安です。鑑賞時にどのくらいのスタッフがついてくれますか？	基本は1クラスに1～2名のスタッフがついてご案内します。鑑賞が主となる小学校高学年の活動では、更に小グループに分かれる場合もあります。鑑賞時間は一般のお客様も展示室にいらっしゃいます。子どもたちと作品の安全のために、先生方にも見守りのご協力をお願いします。集団行動が難しい子どもには、特にマンツーマンで見守りをお願いします。
	小学校高学年の鑑賞プログラムのなかで、自由鑑賞の時間を設けることは可能でしょうか？	内容により可能な場合があります。作品の展示状況や会場混雑、また見守りの体制によっては難しい場合もありますので、事前打合せの際にご相談ください。
	手で触れる作品はありますか？	横浜美術館のコレクションは触れられない作品がほとんどです。ただ、作品に関連した素材に触れたり、言葉での鑑賞や粘土で立体作品を制作した後に鑑賞に向かうなど、プログラムの可能性はさまざまです。事前打合せの際に、生徒の状況や先生方が目指したい学習活動をお聞きしたうえで計画をたてます。
	インターナショナルスクールです。英語で対応していただけますか？	英語および他言語での対応はできません。日本語の理解や対話が難しい児童生徒は、先生方のサポートおよび通訳などのご手配をお願いします。
入場料について	当日と下見の展覧会の入場料はかかりませんか？	園児・児童・生徒、また引率の教員や支援員の方の入場料はかかりません。事前打合せの下見の際も無料です。

事前打合せについて	事前打合せはどの位の時間を要しますか？	1時間から2時間程度かかる予定です。先生方から子どもたちや現在の学習活動の様子を聞き取りながら当日のプログラムを組み立てます。鑑賞内容の検討のため、実際に展示室も見学していただくと、約2時間程かかります。打合せの日程は、候補日をいくつかご提示いただき調整をいたします。 当日の安全かつスムーズな進行のため、極力当日の引率の先生が複数名立会ってくださるよう、ご協力をお願いします。
	事前打合せに行く時間がとれません。オンライン、電話での打合せは可能ですか？	当日お互いに誤解なく、安全にプログラムを行うために、必ず事前にご来館をお願いしています。 事前打合せは以下の内容です。 (造形プログラム) ・絵具、粘土、紙の様子を過去の活動の記録資料を、ご覧いただきながらご説明します。具体的にイメージした上で、当日の内容を選択していただきます ・子どもたちの状況について伺い、当方で配慮することがあるか、先生方とご相談します (鑑賞プログラム) ・鑑賞作品や見学ルートをご確認いただきます。子どもたちの関心事項や、子どもたちに学んでほしいテーマを抽出し、鑑賞計画をご提案します。 ・高学年のプログラムでは鑑賞時間前のアクティビティの内容についてご相談します。 ・特別支援学校(中高)の場合は、2回程度のお打合せをお願いいたします。1回は小学校に伺う場合もあります。来館日に合わせてどのような活動が良いか、生徒の状況に合わせてプログラム内容をご相談します。
活動場所について	着替えの場所、手足を洗う場所はありますか？	着替えの場所：クラス、男女別に更衣室を分けて利用できます(クラフトルーム、スタジオなど)。 手洗いのスペース：(蛇口：プレイルーム4箇所、光と音4箇所、中庭8箇所、水・お湯)、足が汚れたときに足を洗う大きな桶などもございます。感染症予防の観点からタオル類は各自で持参してください。
	美術館内で昼食をとることは可能でしょうか？	昼食時はアトリエまたは館内の別会場を利用することができます。
バリアフリー・アクセシビリティ対応について	活動スペースは、車イスやストレッチャーの生徒が複数名いても十分な広さでしょうか？	主に使用するアトリエ各室の広さは以下の通りです。造形プログラムは主にプレイルームで行う予定です。 プレイルーム：約180㎡ クラフトルーム：約90㎡ 光と音のスタジオ：約78㎡
	おむつ替えができるスペースはありますか？	乳幼児向けのおむつ替えスペースは、アトリエ内の多目的トイレ1か所可能です。必要に応じてアトリエ内にダンボールで簡単な目隠しをしたおむつ替えスペースを設置します。 その他以下の備品をご利用いただけます。 ・エアレックスマット2枚 ・湯沸かしポット ・電子レンジ ・畳2畳 当館バリアフリー情報を合わせてご確認ください。 https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/
	展示室で子どもが興奮してしまった場合、落ち着くためのスペースはありますか？	展示室や回廊各所にソファとベンチがあります。休む場合は子どもだけにならないよう、必ず付き添いをお願いいたします。場所は事前打合せの際にご案内します。
	多動の子どもがいるため、セキュリティ面、作品保全が心配です。	アトリエの各所はほぼセキュリティで施錠されていますが、手動で開錠が可能な場所は見守りが必要です。事前打合せの際にご相談させていただく場合があります(個別支援級合同利用の見守り当番など)。心配な子どもがいる場合は、あらかじめ担当の先生を決めておいていただくなど、対策をお願いいたします。
特別支援・養護学校・区単位個別支援学級への対応について	特別支援学校(中学校・高等学校)です。造形活動は行わず、鑑賞のマナーや利用方法、美術館を知る機会とするようなプログラムは可能でしょうか？	特別支援学校中高については、先生方から生徒の様子をお聞きしながらプログラムを計画していきます。そのため、他のプログラムより早い段階から打合せを行います。造形なしのプログラムが適しているようでしたら、変更することが可能です。
	近年、個別支援学級の規模が大きくなっています。区ではなく小学校単独で申し込むことは不可でしょうか？	極力多くの子どもたちが参加できるよう、当館では、区単位でのお申し込みをお願いしています。参加人数の上限は安全面への配慮から大人含め100名程度です。ご調整をお願いいたします。 横浜市北部4区(青葉区、都筑区、港北区、緑区)の小学校、特別支援学校の場合は横浜市民ギャラリーあざみ野で実施している「学校のための造形プログラム」にも申し込むことができます。こちらは単独でのお申込みとなりますので、合わせてご検討ください。 https://artazamino.jp/series/for-school

	小～高校の一貫校です。学部（障がいや特性）ごとの申し込みはできますか？	一団体につき年度内にお申込みいただけるのは1件のみです。どの学部で申込みかは、先生方でご調整をお願いいたします。また学年についても必要であれば年度ごとで申込をする学年を交代していくなど、ご検討をお願いいたします。
駐車場について	バスで来館したいです。利用できる駐車場はありますか？	「学校のためのプログラム」当日は無料でバス駐車場をご利用いただけます。駐車可能台数に限りがあるため、お早目にご予約ください。 (お申込みは「学校のためのプログラム」担当まで)
	特別支援・養護学校・区単位個別支援学級の生徒の送迎についてです。美術館まで自家用車で来館することは可能ですか？	事情により個別の送迎が必要な場合に限り、西口の業務用駐車場をご利用いただけます。詳細は事前打合せにて、ご相談ください。
写真撮影について	活動中の写真撮影は可能ですか？また、学校のブログ等に掲載することは可能でしょうか？	写真撮影、ブログへの掲載は可能です。アトリエは問題ありませんが、展示室内は作品の著作権や他の来場者への配慮が必要なため、担当者に事前にご確認ください。